

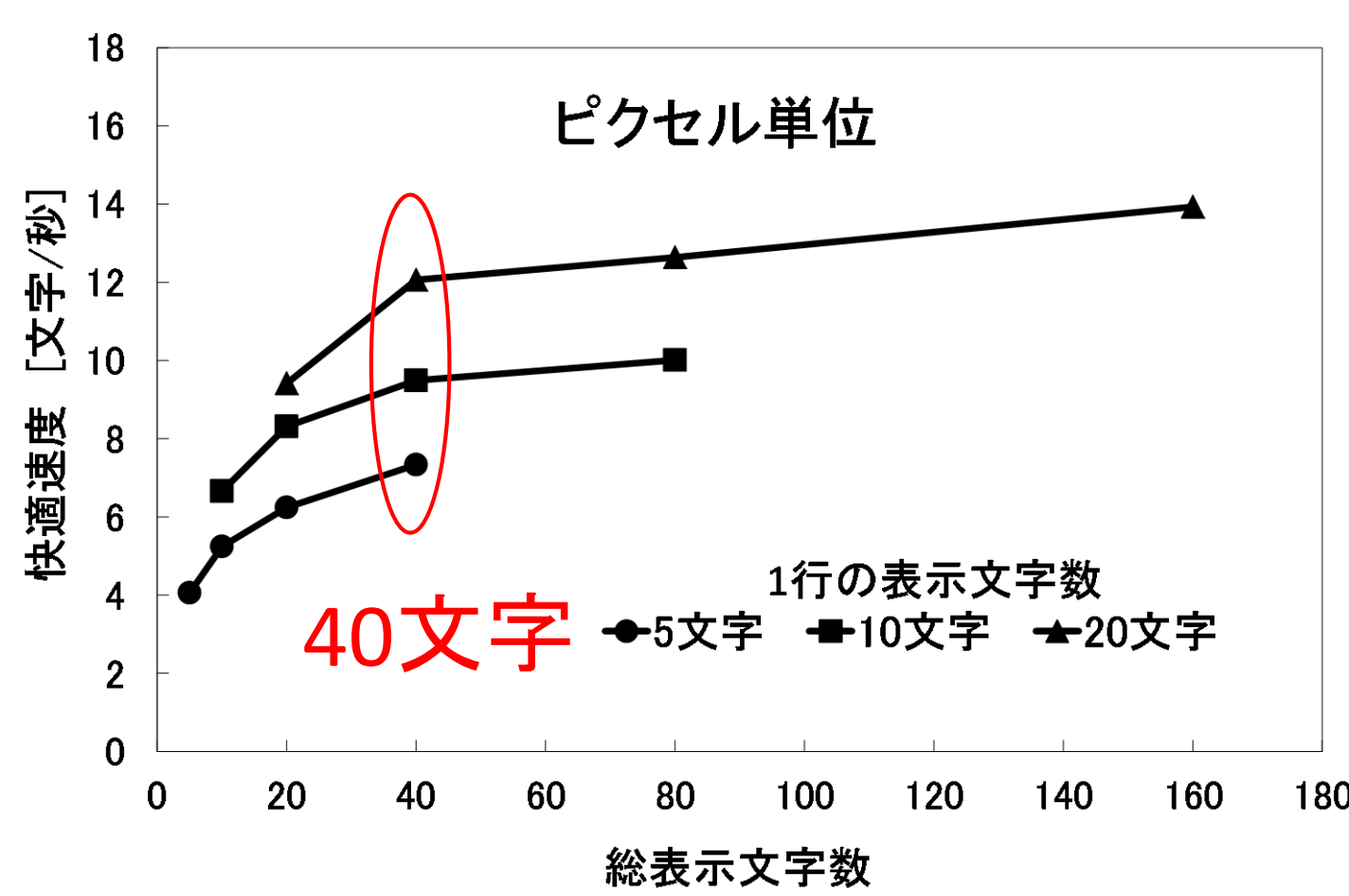
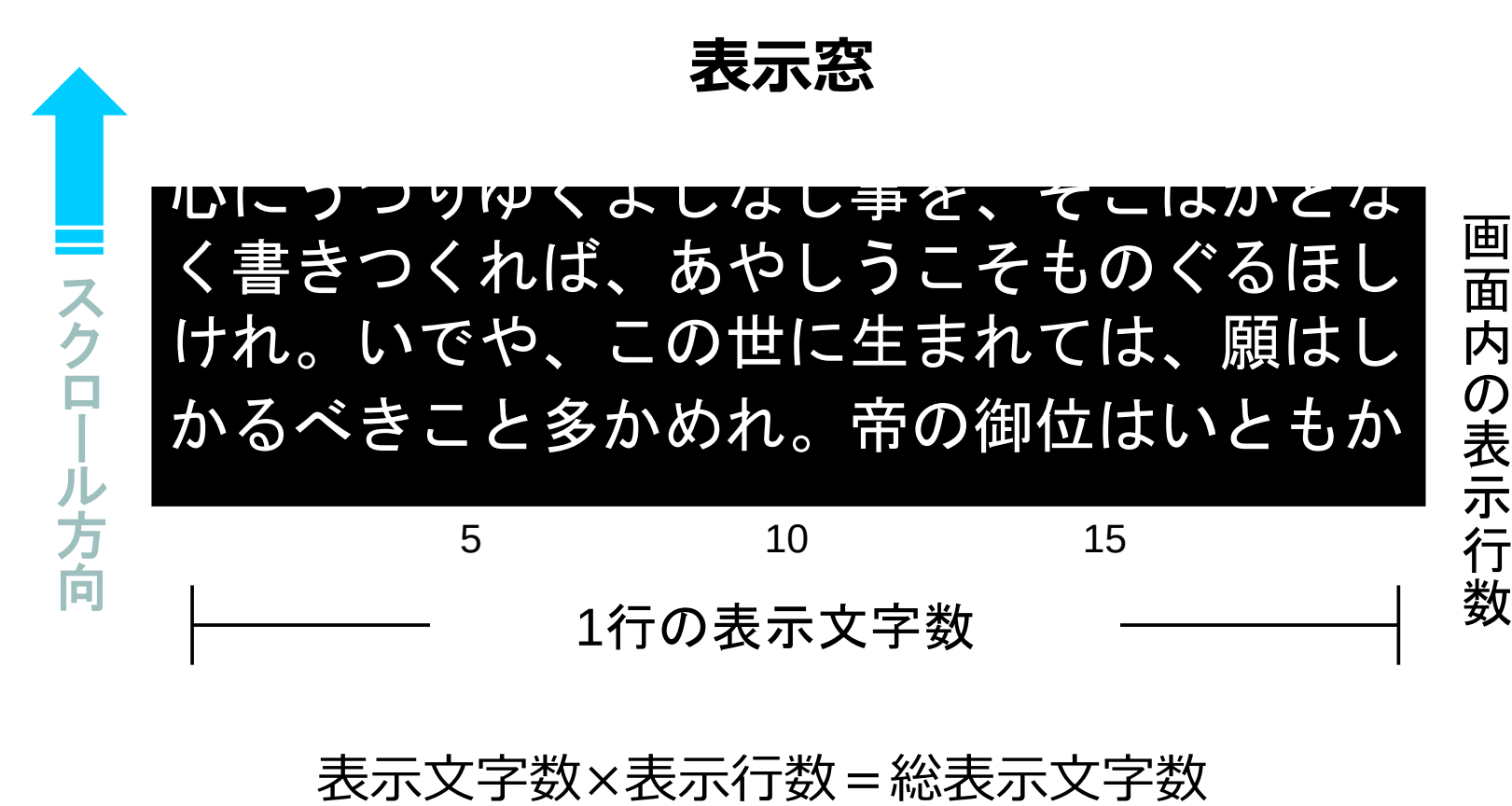
快適な情報表示装置利用に関わる認知特性

図書館情報メディア系 准教授 森田ひろみ

素早く読めるスマートフォン, 読みやすいスクリーンのためのスクロール表示の考慮点: 1) 表示文字数と表示行数のトレードオフ, 2) 視線位置のコントロール, 3) そして適度な行長

①スマートフォンやタブレット端末で文章を読むとき 限られたスペースで文章をスクロールしながら読む

1. どのくらいの文字数を表示できればいいの?

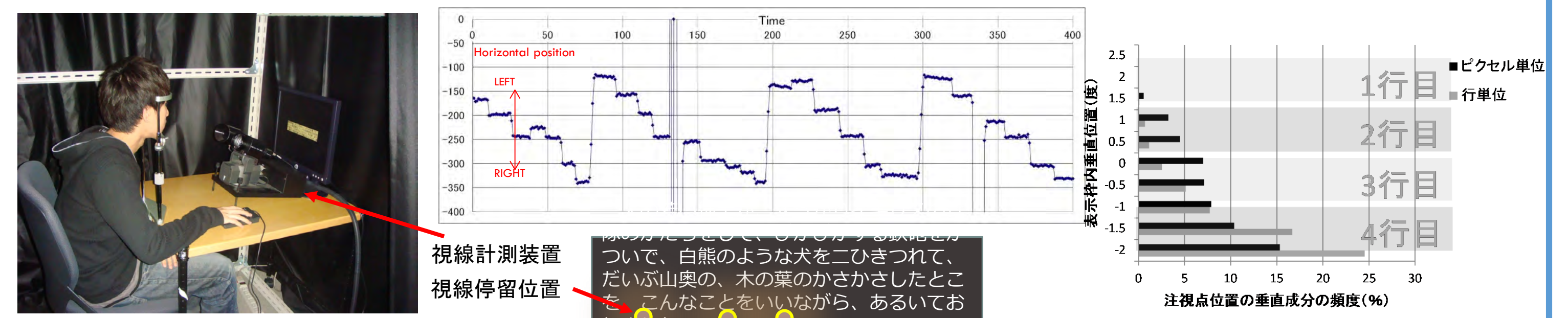


二人の若い騎士が、すっかイギリスの兵隊のかたちをして、ひかひかする鉄砲をかついで、白熊のような犬を二ひきつれて、だいふ山奥の、木の葉のかさかさしたところ、こんなことをいいながら、あるいておりました。「ぜんたい、ここの山はけしからんわ

二人の若い騎士が、すっかイギリスの兵隊のかたちをして、ひかひかする鉄砲をかついで、白熊のような犬を二ひきつれて、だいふ山奥の、木の葉のかさかさしたところ、こんなことをいいながら、あるいておりました。「ぜんたい、ここの山はけしからんわ

速く読めることを目指すなら、
⇒画面に表示できる文字数は40文字以上
⇒同じ文字数なら横長の方が快適に読める速度が速い

2. どんなふうに進んでいるの?

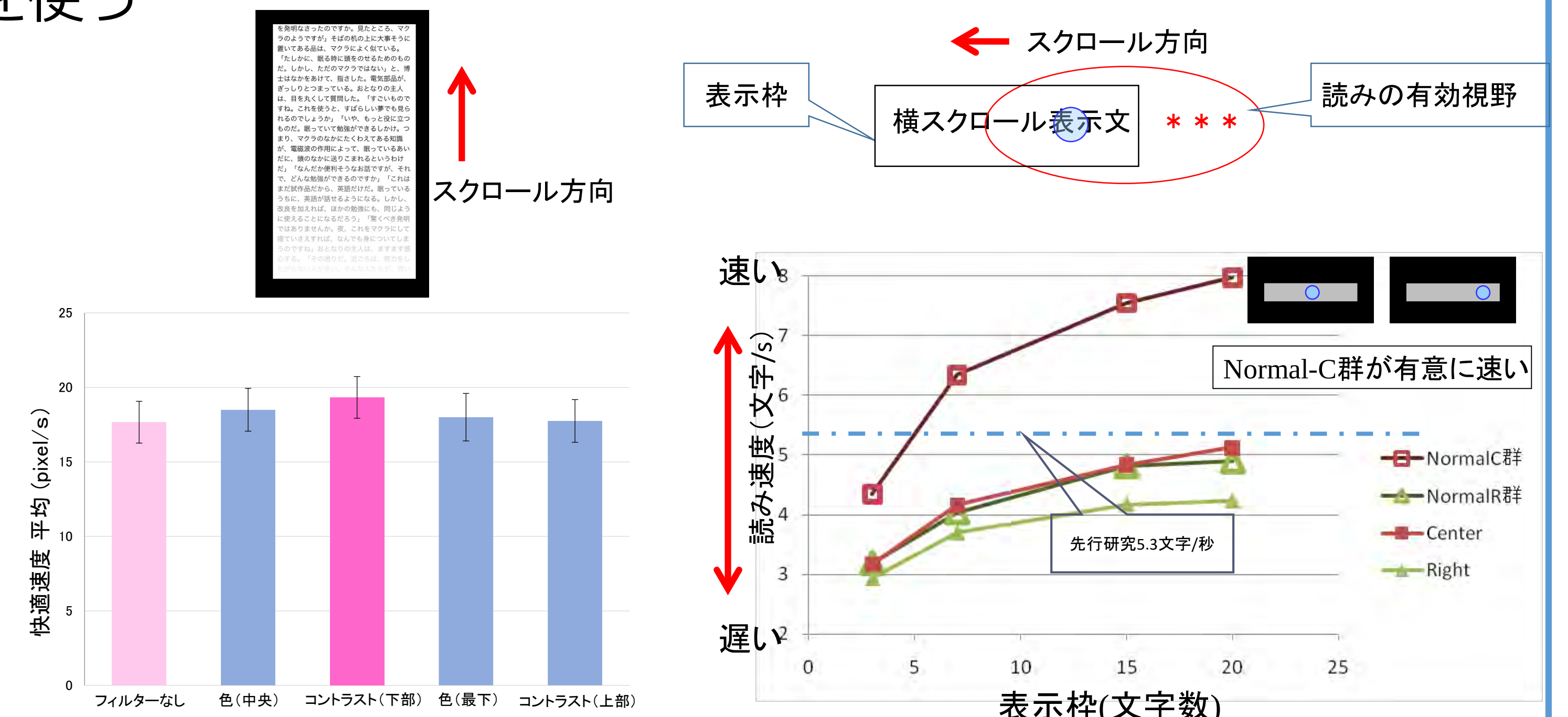


最下行に視線を向けている時間が長い
⇒本当はもっと速く読めるのに、無駄のある読み方をしている

3. 視線を上げる方法は?

a. グラデーションフィルターを使う

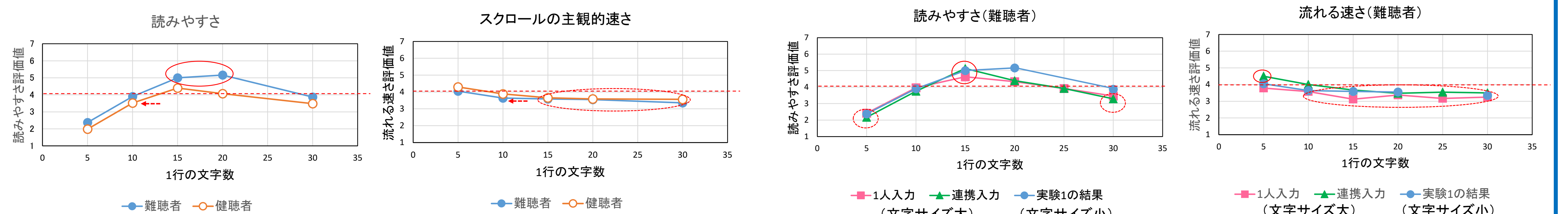
b. 練習する



石井・森田(2013)縦スクロール表示された文章の快適な読み速度と眼球運動. 情報処理学会論文誌, 54(6)

②スクリーンで文章を読むとき 様々な人が一つのスクロール表示文章を読む

聴覚障がい者向けのパソコン要約筆記全体投影の読みやすい表示は?



読みやすさは、1行に15~20文字表示すると最も高評価。(速さは、15文字~30文字で遅い評価)。ただし、文字サイズが大きくなると、20文字の読みやすさが低下する⇒行長が長すぎるのが原因

森田ひろみ, 佐藤匡, 山岡千恵子, 三宅初穂(2018): 聴覚障害者にとって読みやすい要約筆記全体投影表示条件の検討—1行の表示文字数と表示行数—. 電子情報通信学会技術研究報告HCSヒューマンコミュニケーション基礎, 117(509), 83-88, 2018. 3

Difference

- ①スマートフォン: 自動スクロールの快適な読み速度について、行動データと視線計測データの双方から検討されている。視線コントロールによる読み速度向上の可能性を提案
- ②スクリーン: 聴覚障がい者のためだけでなく、外国人向け字幕などへ発展的活用も可能